

付 録

議員提出議案第8号

「隠岐諸島西方における米軍水中爆破訓練の実施に関する意見書」
の提出について

地方自治法第99条の規定により別紙のとおり意見書を提出する。

平成14年12月24日 提出

提出者

境港市議会議員 竹内 祐治
米村 一三
長谷 正信
南條 可代子
水沢 健一
安田 優子
岩間 悦子
渡辺 明彦

隠岐諸島西方における米軍水中爆破訓練の実施に関する意見書

去る11月4日、隠岐諸島西方の我が国の排他的経済水域において、アメリカ合衆国海軍による模擬機雷の水中爆破訓練が実施された。

この海域は、最盛期を迎えているべにずわいがに漁業、沖合底曳網漁業、いか釣り漁業の重要な漁場であり、このような時期に訓練が実施され、漁業者の安全が脅かされたことに強い憤りを感じている。また、実施海域は、水産資源、特に回遊魚の通り道であり、悪影響は避けられない。

また、今回の訓練について、鳥取県並びに本市に事前連絡もなく、訓練が実施されたことは、漁業者の安全確保を図るうえで、大きな問題が生じたところであり、極めて遺憾なことである。

よって、政府におかれては、米軍に対し、重要な漁場となっている水域では訓練を行われないよう要請するとともに、関係地方自治体に対し情報の提供を迅速かつ確実に実施されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

議員提出議案第9号

境港市存続についての決議

「市町村の合併の特例に関する法律」の適用期限が、平成17年3月31日であることから、各地において市町村合併に関する議論が活発になされている。

境港市においても、市長の2回にわたる7地区での住民説明会や各種団体への説明会、また3,000人の市民に対するアンケート調査が実施された。

市議会においても「市町村合併問題調査特別委員会」が設置され、合併に関する諸問題を検討してきた。

関係市町村の合併論議が進む中、境港市議会は明確な意思を市民に示すべき責任がある。従って、私たちは境港市単独の存続が最良の選択と信じるものである。

記

1. 私たちは先人が築き上げた歴史、文化、地域特性を活かしたまちづくりを推進すべきと考える。
2. 市民と一体となった行財政改革に取り組めば、単独市政運営は可能であると考えます。
3. わが地域を愛する市民主役のまちづくり、住民の顔の見えるまちは、境港市の自立によってこそ実現できると考える。

以上決議する。

平成14年12月24日提出

提出者

境港市議会議員 竹内祐治
石長靖哉
水沢健一
岩間悦子
永田辰巳
渡辺明彦
米村一三
荒井秀行
黒目友則
岡空研二
森岡俊夫
定岡敏行